

農作物及び家畜の盗難被害に注意！！

まだまだ暑い日が続きますが、暦の上ではすでに秋、水田では稲穂がこうべを垂れ収穫を待つばかりになりました。

山形県は、全国有数の「果樹王国」です。これから旬を迎えるう・フランス、りんご、ぶどうなどは、常に全国上位の収穫量を収めています。併せて、山形牛、米沢牛、庄内豚をはじめとする畜産業も盛んです。

そんな当県において、他人事では済まされないような事件が他県で発生しています。事案の概要について紹介しますので、青パト活動の参考にしてください。

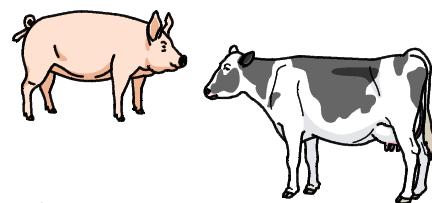


【事案 1】群馬県におけるナシやブドウの盗難被害！！

8月中、群馬県内各地の果樹園で、ナシやぶどうが相次いで盗まれる被害が発生した。ナシについては、梨園の入り口付近に植えていた木から約120キログラムぶどうについては、高級品種のシャインマスカットが一晩で200房も盗まれている。

【事案 2】北関東における大量家畜盗難事件！！

7月上旬から8月下旬にかけ、栃木県、群馬県、茨城県において家畜の盗難被害が相次いだ。被害にあったのは、豚約680頭、子牛8頭、ニワトリ28羽。また、群馬県前橋市の養豚場では、一度に約400頭の豚が盗まれており、主に生後2～4ヶ月の子豚が被害にあった。



【青パトに従事される皆様へ】

紹介した事件は、いずれも県内で発生する可能性があるものです。

県内では、6月にサクランボ盗難事件が発生しています。そうした被害を繰り返さないよう、青パトに従事される皆様にあっては、活動区域内の果樹畑や牛舎、養豚場などにも防犯の目を向け、「見慣れない者」や「不審者」を発見した場合は、積極的な通報をよろしくお願いいたします。

【編集後記】

冒頭にも記載しておりますが、まだまだ暑い日が続きます。今年は青パト活動の際にもマスクを着用されている方もいると思いますが、本人や周囲が気づかない「かくれ脱水」という症状になる人が増えているそうです。車のエアコンを活用したり、適宜、休憩や水分補給などを行っていただき、決して無理をなさらないようお願いします。

県内の青パト情勢

(令和2年8月末)
団体数 170団体
実施者数 6,093人
台数 2,289台